

入院診療計画書（肺癌分子標的薬 < イレッサ >を受けられる方へ）

ID番号 @PATIENTID
病名（他に考える病名）

@PATIENTNAMITWARD 病棟

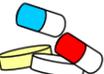
@PATIENTR 号室
症状：

担当医師 @USERNAME

印

担当看護師：

担当薬剤師：
@SYSDATE

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日~ 月 日	月 日 ~ 月 日	月 日	月 日以降	
経過	入院日	入院後1日目	2日目	3日目	4~6日目	7日目	8~9日	10日 ~12日目以降 退院	
目標	化学療法の内容や、副作用について理解することができる。			副作用を理解し、報告・対処することができる。		治療薬の内容や副作用を理解し、自己管理できる。		退院後の自宅療養の注意点について理解して退院できる。	
検査	血液検査、レントゲン検査 			血液検査 レントゲン検査		血液検査 レントゲン検査 		血液検査 レントゲン検査	
治療・処置									
観察	体温・脈拍・血圧測定 食事摂取量を確認します。皮膚・口の中・便の状態を毎日観察します。								
注射									
内服	薬剤師と看護師が内服薬を確認します。 お薬手帳、または処方箋のコピーをお見せ下さい。 		肺腫瘍に対する治療薬の内服が始まります。 初めは看護師が1回毎にお渡しします。 内服時間 【朝食後1日1回】 			用法用量を確認し、ご自分でお薬を管理して頂きます。		退院後も継続して治療薬を内服します。 退院時に必要な分の薬をお渡しします。	
食事	治療中の制限はありません。 食べやすいものを召し上がって下さい。希望により食事内容の変更も可能です。								
生活・行動	行動制限はありません。 身体の清潔を保つために毎日入浴しましょう。食前のうがい・手洗い・手指のアルコール消毒を心がけましょう。		食事のあとは必ず歯を磨き、 1日1回は、お口の中の状態を鏡で見て観察 						
説明	看護師から入院生活や化学療法時の注意点や副作用についての説明があります。 薬剤師からは、持参薬の確認と、治療薬の説明があります。		皮膚障害の副作用予防のために、皮膚の保湿が大切になります。 入浴後は、全身に保湿剤を塗りましょう。洗顔後は、化粧水と乳液で保湿しましょう。 毎日、皮膚の状態を観察して、体調管理ノートへ記録し 			こんな時は医師や看護師にお知らせ下さい！ ①口の中に、口内炎や粘膜の赤みなどができた ②顔や身体にニキビのような湿疹や赤み、乾燥、痒みがでてきた ③便秘・下痢になってきた 症状がひどくなる前に相談をしましょう。		看護師より退院後の自宅療法での注意点についての説明があります。可能であれば、ご家族の方も一緒にお話を聞いて頂くことをおすすめします。	

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (No.236-2) 承認月日 (平成28年7月6日)

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：

続柄：